

熊本市こども計画2025 令和7年度実行計画（案）

こどもが輝き、
若者が希望を抱くまち
の実現に向けて

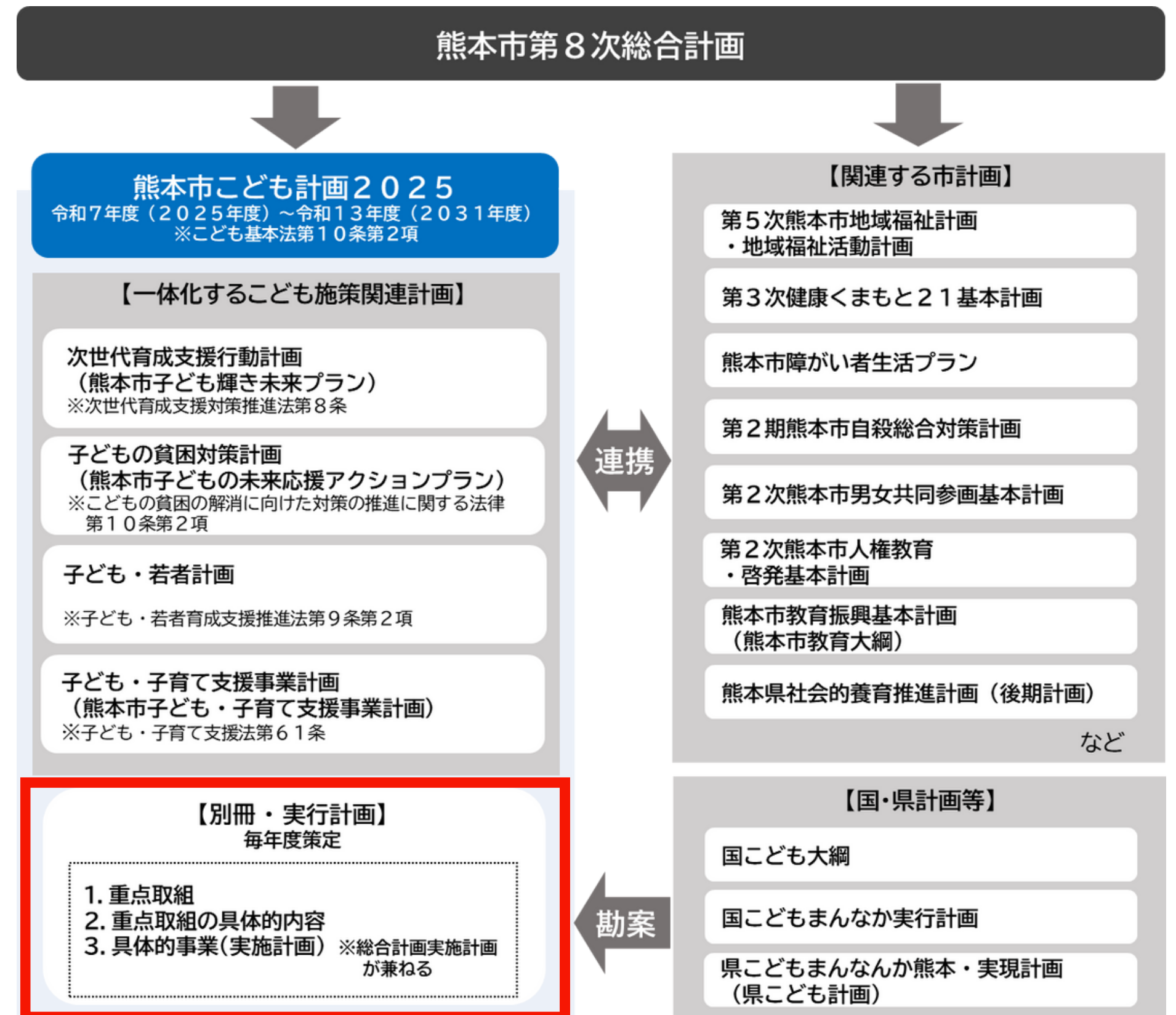
熊本市こども局

令和7年3月



実行計画について

- 本実行計画は、今後7年間程度を見据えた本市におけるこども施策の基本的な方針等を定めるこども計画本編に基づき、当該年度の重点取組や具体的な事業を中心にまとめたものです。
- 実行計画のうち、具体的な事業をとりまとめた実施計画については、第8次総合計画の実施計画が兼ねています。
- 総合計画アクションプラン、国のこどもまんなか実行計画、県こども計画の見直しに応じて、毎年度見直しを行います。



目指す姿

こどもが輝き、若者が希望を抱くまち

熊本市こども計画2025に基づき、令和7年度から令和13年度までを計画期間としてこども施策を総合的に推進していきます。

令和7年度重点取組

- 令和7年度は、こどもや若者、子育て当事者の安心感の向上につながる取組を充実させるため、5つの「安心」を柱として重点的に取り組みます。
- こどもの権利を守る取組をはじめ、こどもや親子の居場所づくり、産後ケア、こども誰でも通園制度の充実、医療的ケア児・障がい児保育の体制強化など、こども局予算全体としては前年度から68億円増の688億円に大幅増加しています。



重点取組

こども・子育て支援施策の令和7年度の事業展開

5つの「安心」なまちづくり

こどもや若者、子育て当事者の視点に立ち、子育て当事者の子育て等で生じる不安やストレス、悩みを軽減するとともに、こどもや若者が「安心」して、勉強、スポーツ、遊びなどができる環境づくりに取り組みます。



安心 1

こどものいのちと権利を
守ります



安心 2

社会全体で
子育て当事者を支えます



安心 3

安全・安心な居場所と
学びの場を提供します



安心 4

困難な状況にある
こどもや家庭を支援します



安心 5

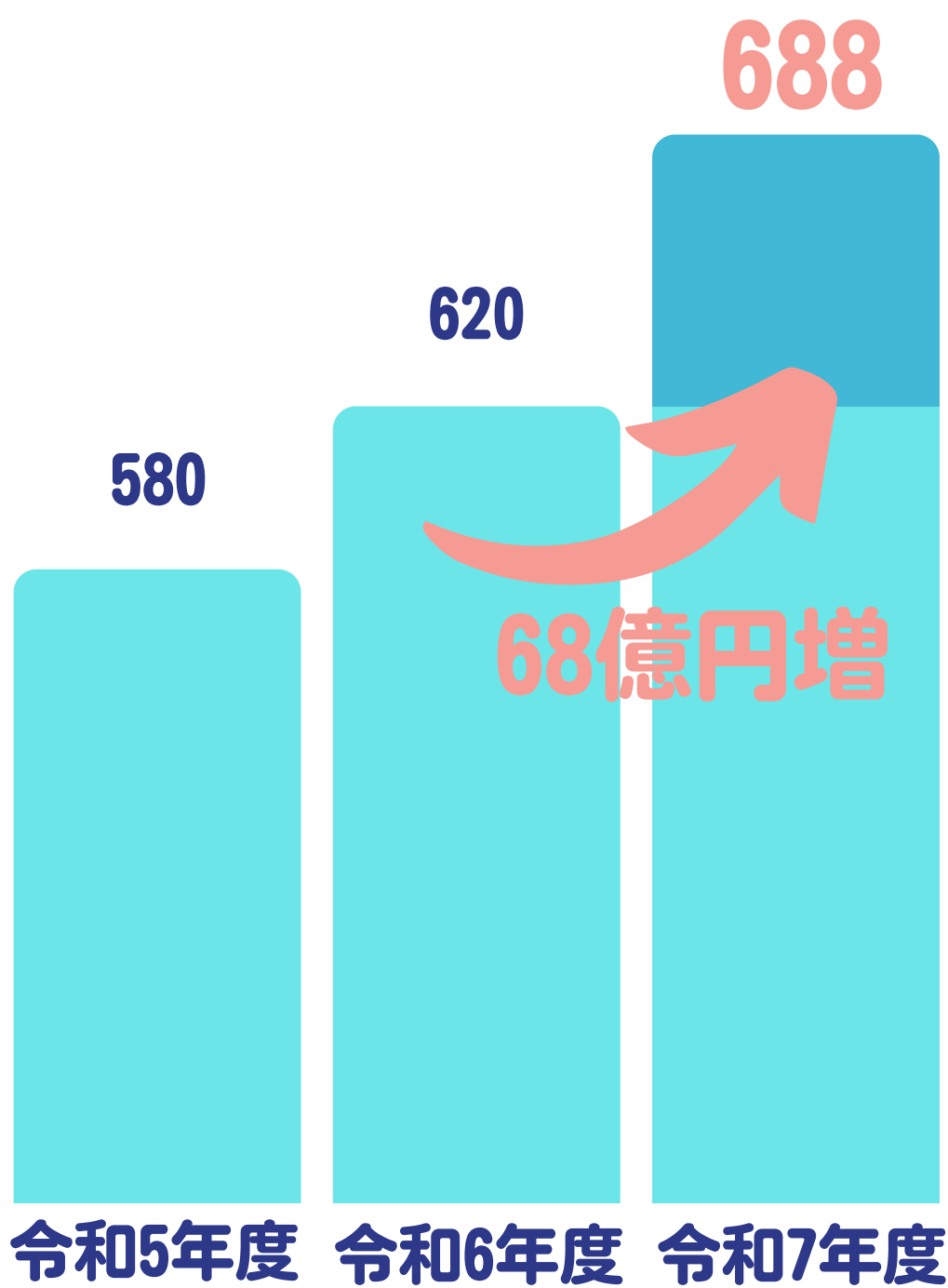
若者等の希望の実現と
活躍の場を提供します

※具体的な取組は 5 ページ以降に記載

令和7年度こども局予算の全体像

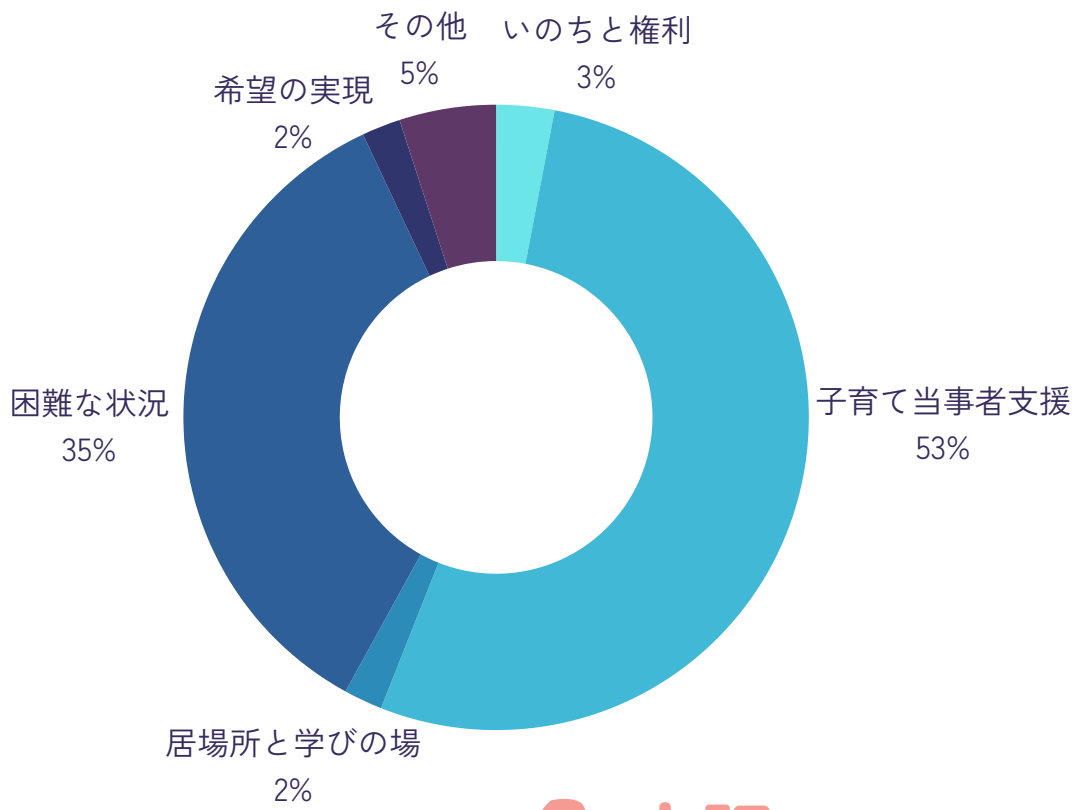
01. 総額688億円の予算措置

こども局予算推移（単位：億円）



02. 前年度比68億円増加

- 要因1 児童手当の制度拡充 25億円
- 要因2 保育士の処遇改善等 22億円
- 要因3 児童扶養手当の制度拡充等 5億円
- その他こども医療費等 6億円



03. 予算内訳

取組	事業数	予算額
安心 1 こどものいのちと権利を守る	4事業	3,810万円
安心 2 社会全体で子育て当事者を支える	78事業	560億1,006万円
安心 3 安全・安心な居場所と学びの場を提供する	3事業	3,952万円
安心 4 困難な状況にあるこどもや家庭を支援する	51事業	88億9,143万円
安心 5 若者等の希望の実現と活躍の場を提供する	3事業	3,756万円
その他	8事業	37億4,316万円

147事業 688億円

※こども計画では、こども局以外のこども・若者、子育て当事者に関する取組も総合的に推進していきます。

【安心1】 こどものいのちと権利を守る取組

こどもの権利サポートセンター 令和7年度予算額
2,403 万円

学校内外問わず、こどもの権利擁護に係るすべての事案の相談を受け、解決に取り組みます。

また、こどもの権利に関する広報啓発を行います。

-Point-

- ・令和6年度に開発した「いじめ予防ゲームワークショップ」を本格展開し、いじめを未然に防ぐ取り組みを広げます。

相談件数(単位: 件)



※令和7年1月末時点



こどもの権利を守る取組 令和7年度予算額
1,040 万円

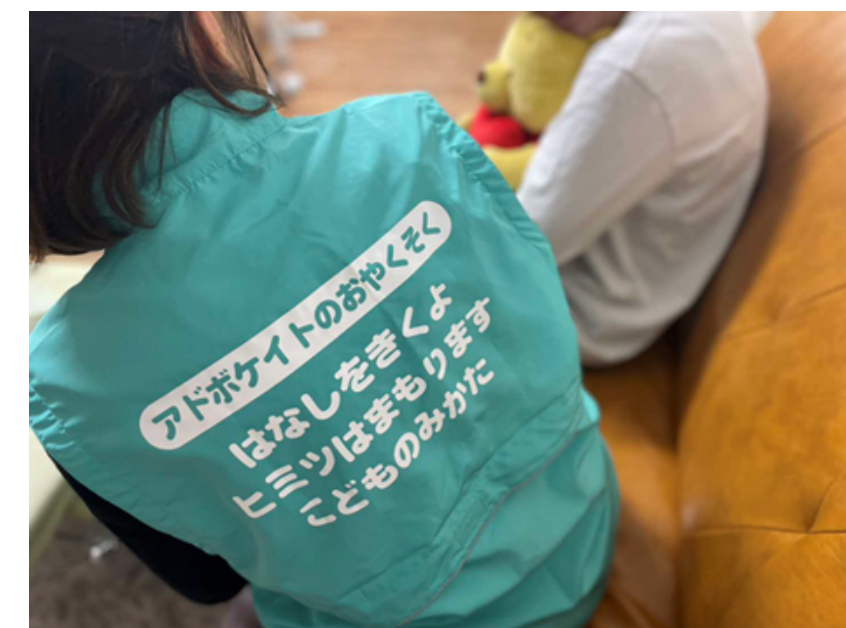
意見表明等支援員（アドボケイト）が児童養護施設等を訪問し、こどもの現在の生活環境や将来に関する事など、こどもの意見を聴き取り、意見表明の支援などを行っています。

また、意見表明等支援員の確保・育成や施設職員に対するこどもの権利擁護に関する周知・啓発にも取り組みます。

-Point-

- ・意見表明等支援員による施設訪問（定期・リクエスト）
- ・意見表明等支援員の確保、育成
- ・施設職員等に対するこどもの権利擁護に関する研修等の実施

意見表明等支援員が会った
こどもの人数（R7.1時点）



【安心1】こどものいのちと権利を守る取組

拡
充

学校の支援体制強化

令和7年度予算額

6.6 億円

福祉の専門家のスクールソーシャルワーカーや、心理の専門家のスクールカウンセラーが、カウンセリング等を実施し、児童生徒に係るいじめや不登校等の諸課題の予防・早期解決に取り組みます。

また、支援を必要とする児童生徒のいる学級に、担任教諭等を補助する学級支援員を派遣し、児童生徒の安全確保・学習環境の改善を行います。

-Point-

- ・スクールカウンセラーの配置時間を拡充
- ・医療的ケアを必要とする児童生徒に対応する看護師を増員

学校現場における人員配置の推移

	R2	R3	R4	R5	R6	R7	6か年増加率
スクールソーシャルワーカー (配置人数)	10	16	16	16	21	21	2.1倍
スクールカウンセラー (配置時間)	9,608	12,765	12,538	12,171	12,171	12,898	1.3倍
不登校対策センター (配置人数)	4	6	14	14	21	21	5.3倍
学級支援員 (配置人数)	137	138	135	168	187	192	1.4倍
部活動指導員 (配置校数)	5	5	5	8	11	42	8.4倍
大学生アシスタント (配置人数)	—	—	—	30	70	70	2.3倍



拡
充

不登校児童生徒への “こころの居場所づくり”

令和7年度予算額

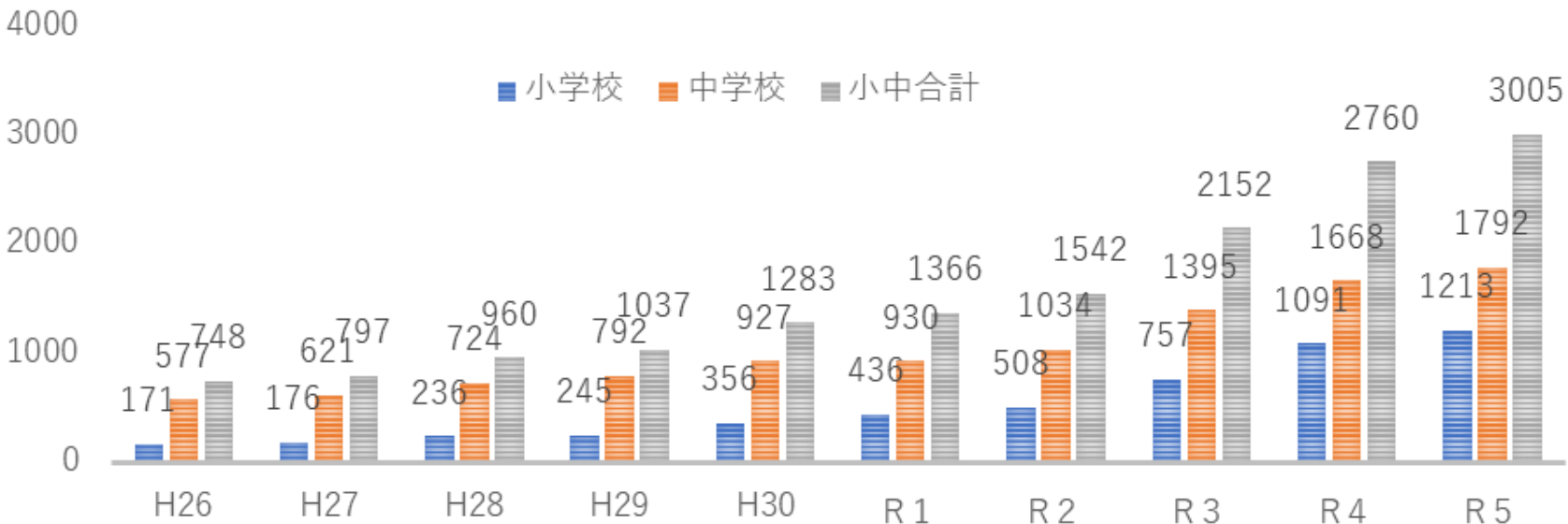
5,970 万円

直接通所してさまざまな体験や学習を行う教育支援センター〈フレンドリー〉、教育ICTを活用して学びの機会を保障するフレンドリーオンライン、熊本大学教育学部の学生を学校や家庭に派遣するユア・フレンドの拡充により、不登校児童生徒の社会的自立を支援します。

-Point-

- ・市内6箇所に教育支援センター〈フレンドリー〉を設置
- ・オンラインの配信によるフレンドリーオンラインを実施
- ・話し相手、遊び相手になる学生をユア・フレンドとして派遣

熊本市の不登校数の推移



【安心1】こどものいのちと権利を守る取組

新規

こどものヘルメット購入助成

令和7年度予算額

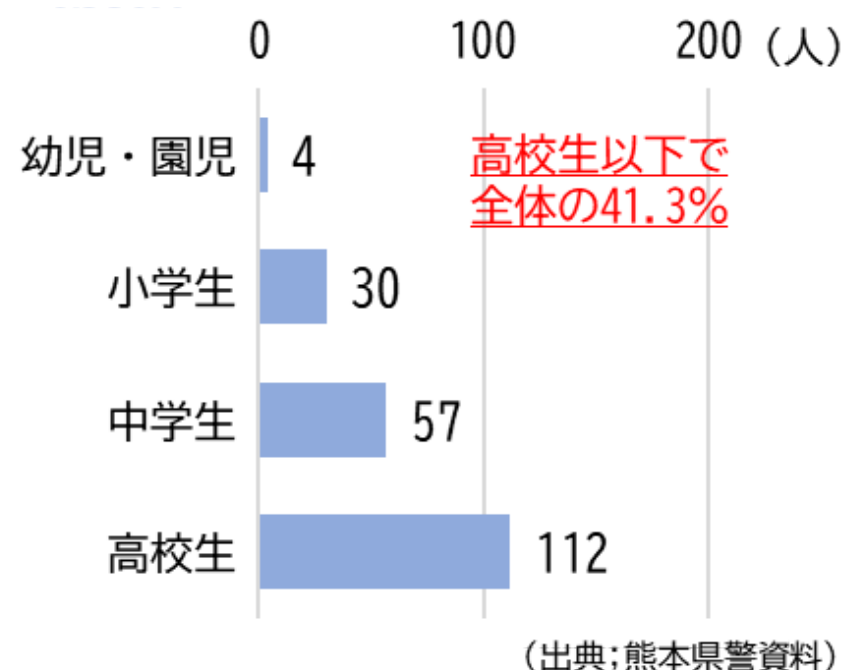
3,500 万円

令和5年の熊本県内での自転車乗用中による死傷者数は、高校生以下で全体の41.3%を占めています。このようなことから、こどもの安全を確保するため、ヘルメットの購入に補助を行います。

-Point-

- ・0～18歳（高校3年生相当以下）のこどもを対象
- ・こどものうちからヘルメット着用を習慣化
- ・重大事故（死亡・重傷）の防止

令和5年 熊本県内での自転車乗用中の死傷者数



高校生以下で
全体の41.3%



新規

こどもや若者の意見反映

令和7年度予算額

50 万円

こどもや若者の自己肯定感や自己有用感、主体性を高めるため、また、こども等のニーズを踏まえた効果的な取組を行っていくため、こどもや若者の意見を聴き、市政に反映させていきます。

-Point-

- ・こども等の意見を市政に反映するための仕組みづくり
- ・こども等の意見を効果的に引き出すためのファシリテーターの養成

妊娠内密相談センター

令和7年度予算額

290 万円

予期せぬ妊娠に悩む方等に対する伴走型支援を行います。
また、性に関する正しい知識の普及啓発に取り組みます。
（妊娠相談支援体制強化事業）

-Point-

予期せぬ妊娠を防ぐため、学校や関係機関と協力して講演会や研修会を行うなど、包括的性教育を推進します。



【安心2】社会全体で子育て当事者を支える取組

子育て応援アプリ「くまっと」

令和7年度予算額

66 万円

子育て応援アプリ「くまっと」は、将来のライフプランを考える若い年代の方から妊娠中の方や子育て中の方に向けて、必要な情報をお届けします。

-Point-

- ・地域の子育てサービスを簡単に検索
- ・予防接種の予定日、地域の子育てイベント情報などをプッシュ型で発信
- ・子育て（母子手帳）の記録を保存・管理



産後ケア

令和7年度予算額

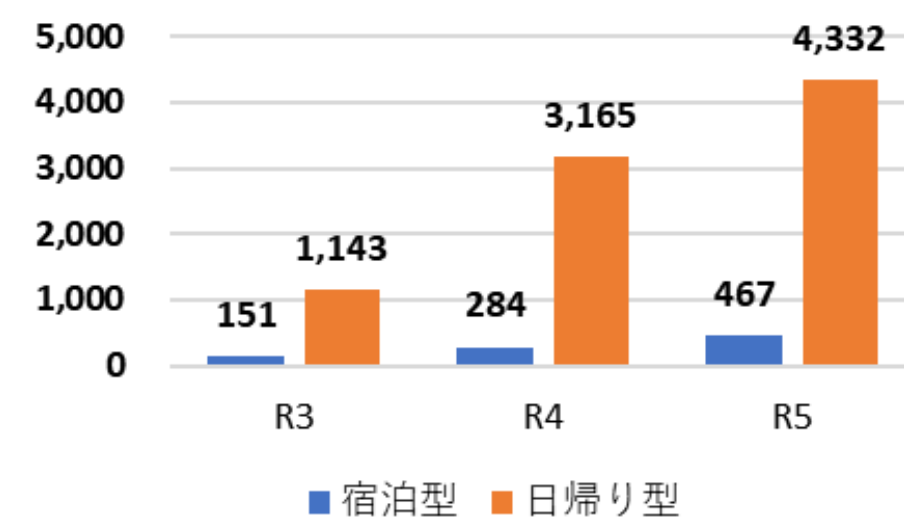
6,630 万円

助産師等の看護職が中心となり、母親の身体的回復と心理的な安定を促進するとともに、母親自身がセルフケア能力を育み、母子とその家族が健やかな育児ができるよう支援します。具体的には母親への保健指導や栄養指導、心理的ケア、適切な授乳に必要なケア、育児の手技にかかる指導及び相談を行います。

-Point-

- ・対象者は産後1年未満で支援を必要とする全ての産婦
- ・医療機関や助産所で、宿泊型、日帰り型、訪問型によるケアを実施
- ・産婦の状況に応じて通算10回まで利用可能

産後ケア延べ利用者推移（単位：人）



【安心2】社会全体で子育て当事者を支える取組

新規

こども誰でも通園制度の拡充

令和7年度予算額

5,290 万円

多様な働き方やライフスタイルにかかわらない形での支援を強化するため、保育所等に通われていない生後6ヶ月から3歳未満のお子さんを、保護者の就労要件等を問わず時間単位で、保育所等においてお預かりする制度を実施します。

-Point-

- ・専業主婦(夫)や育休中で保育所に入所することができない方でも本制度を利用することが可能
- ・令和6年度試行的事業から実施施設数を拡充（8→12施設）

0歳6か月から2歳児の人口

人口	16,773人
入所児童数	9,465人
未就園児数	7,308人

利用対象となる人数↑



拡充

児童育成クラブの運営

令和7年度予算額

23.2 億円

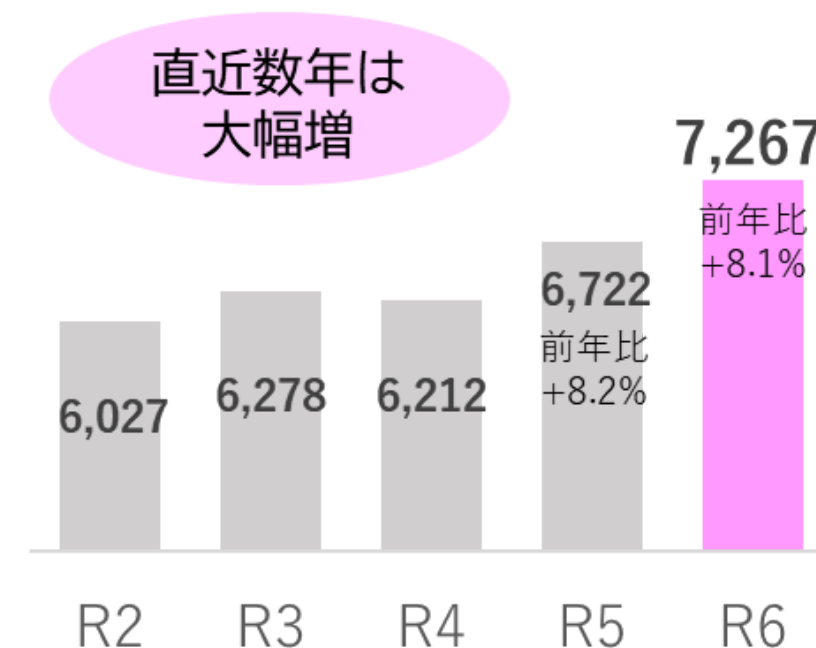
保護者が労働等で昼間家庭にいない小学校の児童を対象に、適切な遊びと生活の場を提供し、健全な育成を図ります。

また、児童が安心して快適に過ごせるよう、手狭な施設や老朽化した施設の増改築を進めます。

-Point-

- ・支援員の処遇改善やクラブ利用に係る手続きのオンライン等により、安定的で効率的なクラブ運営を推進
- ・遊具や図書等の入れ替えによるクラブ環境の充実

登録児童数の変化（単位：人）



【安心2】社会全体で子育て当事者を支える取組

子育て支援優良企業認定

令和7年度予算額

390 万円

安心して子育てと仕事の両立ができる働きやすい職場環境の整備を進める企業を「子育て支援優良企業」として認定します。

-Point-

- ・認定企業及び優良事例をまとめた事例集を
高校・大学・合同就職説明会等で配布
- ・男性従業員向け家事・育児の情報提供



子育て応援サイト

令和7年度予算額

292 万円

妊娠・出産・子育てなどライフステージに応じた「知りたい制度」「役立つ情報」を提供し、安心してこどもを産み育てやすい環境づくりを行っています。

-Point-

- ・保育園、病児・病後児保育の空き状況
- ・子育てイベント情報
- ・親子にやさしいお出かけマップ など

♡ 子育て応援サイト ♡



産前産後ホームヘルプ

令和7年度予算額

1,070 万円

妊娠中・出産後の体調不良や多子出産などで家事・育児を行うことが困難な家庭にホームヘルパーを派遣し、家事・育児の支援を行います。

-Point-

- ・利用可能期間：登録決定日から出産後1年未満まで
- ・利用可能日数：40回まで（1日複数回の利用も可能）
- ・R7.4.1からHPに記載の事業者であればどこでも利用可能



病児・病後児保育

令和7年度予算額

1.1 億円

熊本市および連携自治体在住の小学6年生までのお子さんが病気あるいは病気回復期において、保護者が家庭で保育を行うことができない場合、一時的に施設でお預かりしています。

-Point-

- ・利用には事前登録（毎年度）が必要
- ・連携自治体：宇城市、合志市、菊池市、菊陽町、西原村、
嘉島町、玉東町、高森町、大津町、益城町、山鹿市、玉名市
荒尾市、御船町、長洲町



【安心2】社会全体で子育て当事者を支える取組

令和8年度中の
学校給食費の無償化も
目指しています！

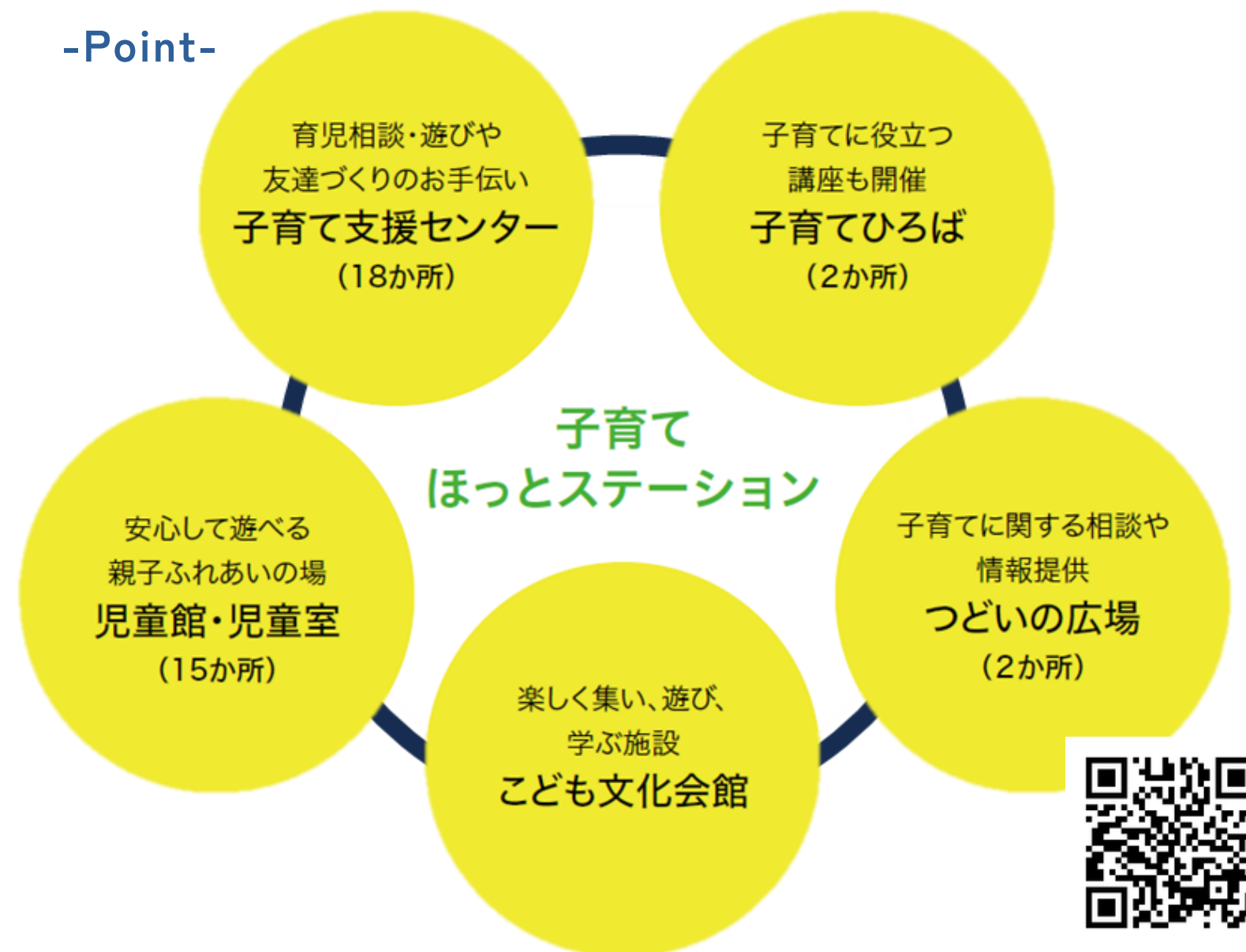
子育てほっとステーション

令和7年度予算額

4.0 億円

子育て中の皆さんが気軽に訪れることができ、ほっとくつろげる空間として、次の施設を「子育てほっとステーション」と名づけています。それぞれの施設ごとに特徴がありますので、お気に入りの場所を見つけてください。

-Point-



こども医療費助成

高校3年生までの医療費を助成することにより、
こどもの健康の保持及び養育者の経済的支援を図ります。

-Point-

- ・全年代の入院費・保険薬局代が全額無料
- ・外来の医科は2歳まで全額無料
- ・歯科は4歳まで全額無料



令和7年度予算額

27.6 億円

ようこそ赤ちゃんプロジェクト

妊娠期から出産・子育て期まで一貫した伴走型相談支援と経済的支援を行います。

-Point-

- ・妊娠届出時：
妊婦1人あたり5万円
- ・出生届出時：
児童1人あたり5万円
- ・校区担当保健師が中心となり、
妊婦さんや子育て家庭をサポート



令和7年度予算額

6.0 億円

【安心3】安全・安心な居場所と学びの場を提供する取組

拡
充

こどもの居場所の確保

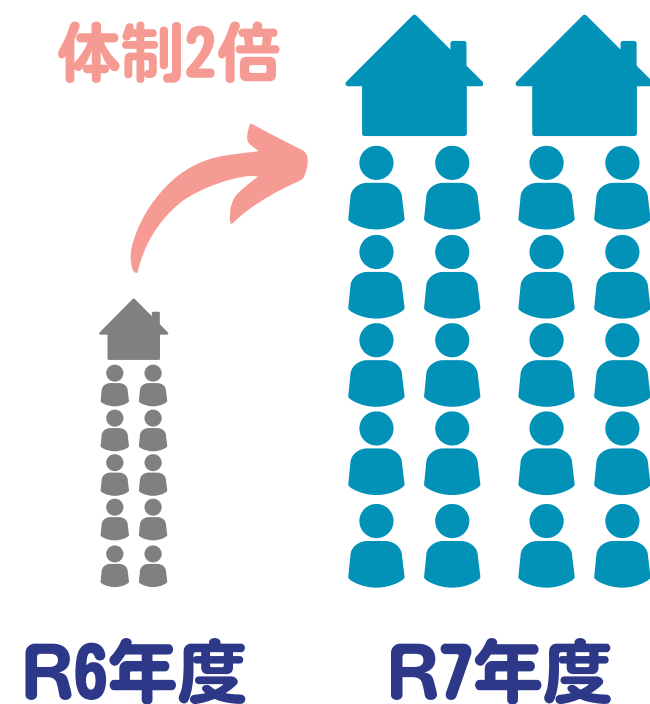
令和7年度予算額

2,680 万円

家庭や学校に居場所のないこどもが安心して過ごすことができる「こどもの居場所」を提供します。
専門スタッフが生活習慣の形成や学習支援、食事の提供などを行います。

-Point-

- ・「居場所」を2か所に増設
- ・送迎サービスを拡充し、保護者負担を軽減



こども食堂の拡充に向けた取組

令和7年度予算額

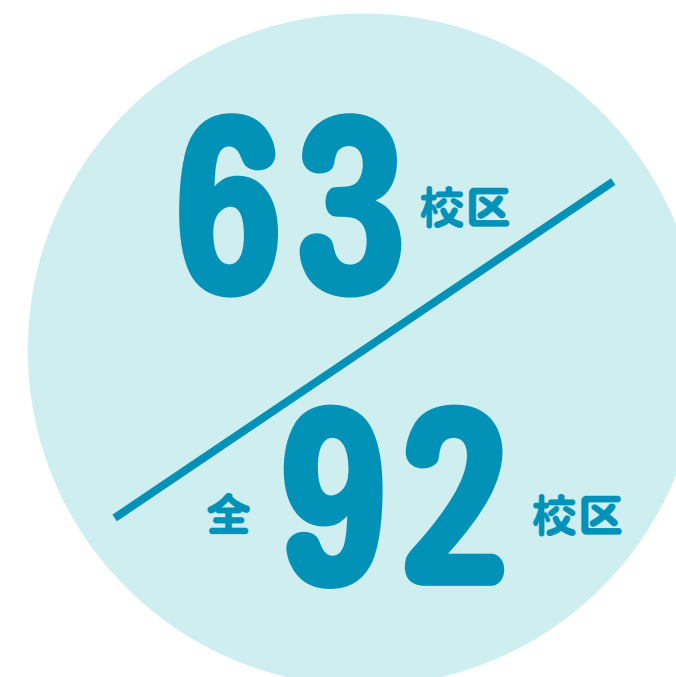
793 万円

全小学校区におけるこども食堂の開設や地域住民のこども食堂への参加・協力を促すための啓発活動を行います。
また、こども食堂の活動をサポートするため、活動費の一部助成や寄附者とのマッチング、支援情報の提供等を行います。

-Point-

- ・こども食堂キャラバン隊によるこども食堂の活動や魅力の発信
- ・こども食堂関係者間のつながりづくりの場の提供（ワークショップ）
- ・こども食堂の開設及び運営等にかかる費用の一部助成

開設校区数（R6.12時点）



【安心3】安全・安心な居場所と学びの場を提供する取組

安全で安心な公園環境の整備

令和7年度予算額

2.4 億円

古くなった遊具の修繕や更新を行い、こどもたちが安心して遊べる公園を整備します。

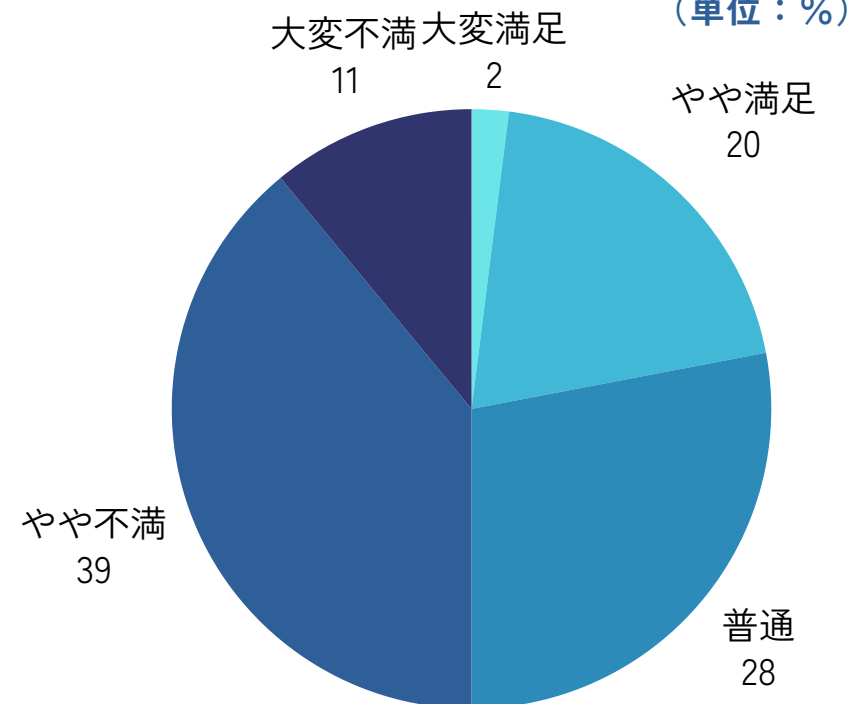
公園利用者の声を反映した公園の集約や再整備を進め、安全な公園利用や利用率の向上を図ります。

-Point-

- ・年に2回の施設点検（夏休み前、冬休み前）
- ・長寿命化計画に基づいた遊具等の修繕・更新
- ・ワークショップ等による公園利用者の意見を反映した再整備

身近な公園の満足度について

（単位：％）



遊具の損傷状況



利用者や小学生声を活かした公園づくり

動植物園における学びの場の提供

令和7年度予算額

3.0 億円

いきもの学習センターの改修（令和7年度）を行い「熊本市の自然環境教育の拠点」を目指して楽しく、わかりやすい学習の場の提供や生息域外保全に取り組みます。

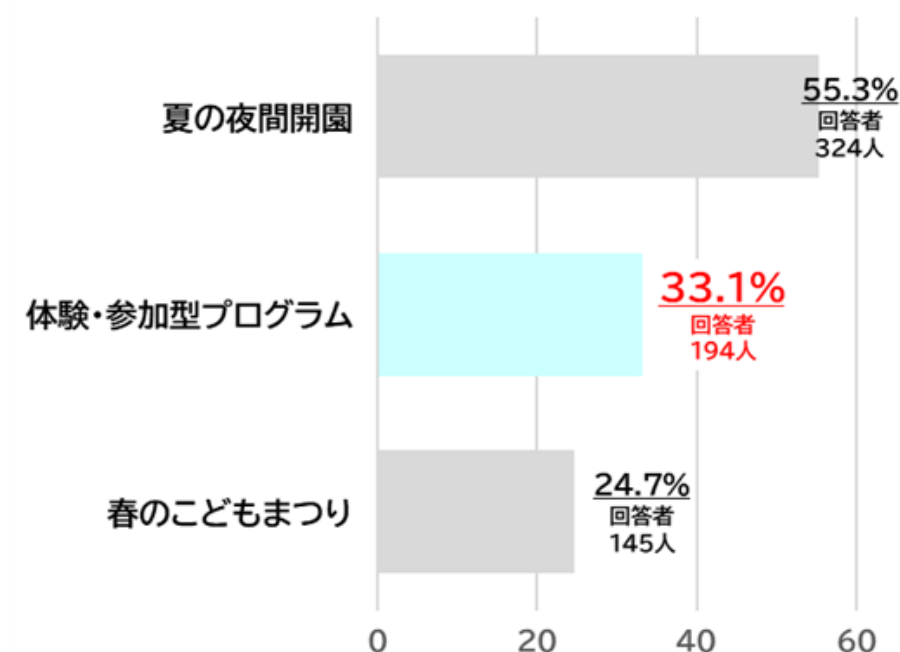
学習プログラムの中からテーマを選定し、園内を周遊する謎解きイベントを実施します。

-Point-

- ・来園者が観るだけでなく、他の感覚も使って楽しめる施設に整備
- ・学びとエンターテインメント性の両立した体験・参加型イベントの開催

継続してほしいイベントTOP 3

〔R6年度動植物園内アンケート調査より〕



【安心4】 困難な状況にあるこどもや家庭を支援する取組

医療的ケア児の保育支援

令和7年度予算額
6,900 万円

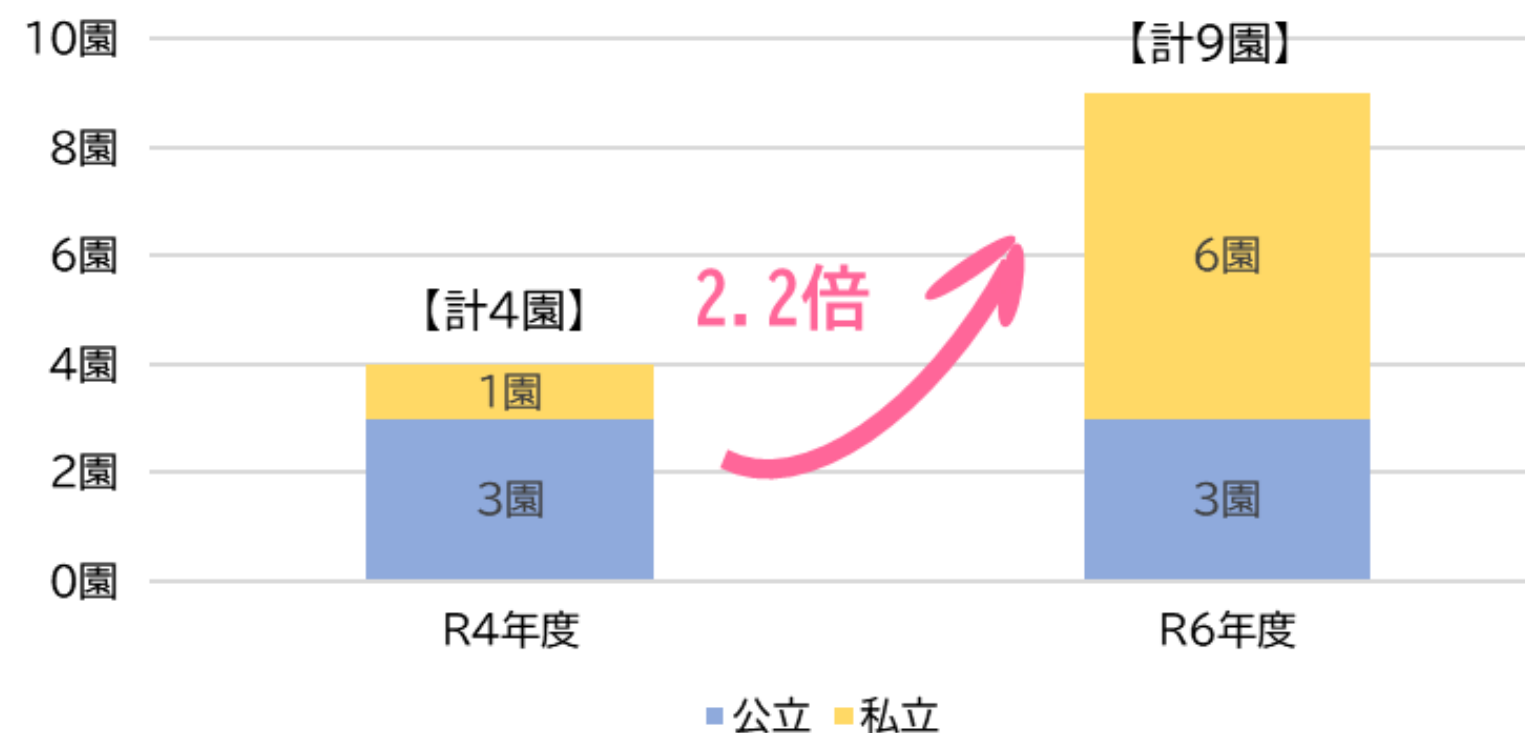
医療の進歩により、人工呼吸器の装着など日常生活で医療が必要な児童（医療的ケア児）は年々増加しています。

医療的ケア児を受け入れるため、私立保育所等に対し、看護師を雇用する経費の助成等を行います。

-Point-

- ・看護師の配置や設備面の充実を図ることで様々なニーズに対応できる受け皿の確保に取り組みます。

受入園数の推移



障がい児保育による支援の充実

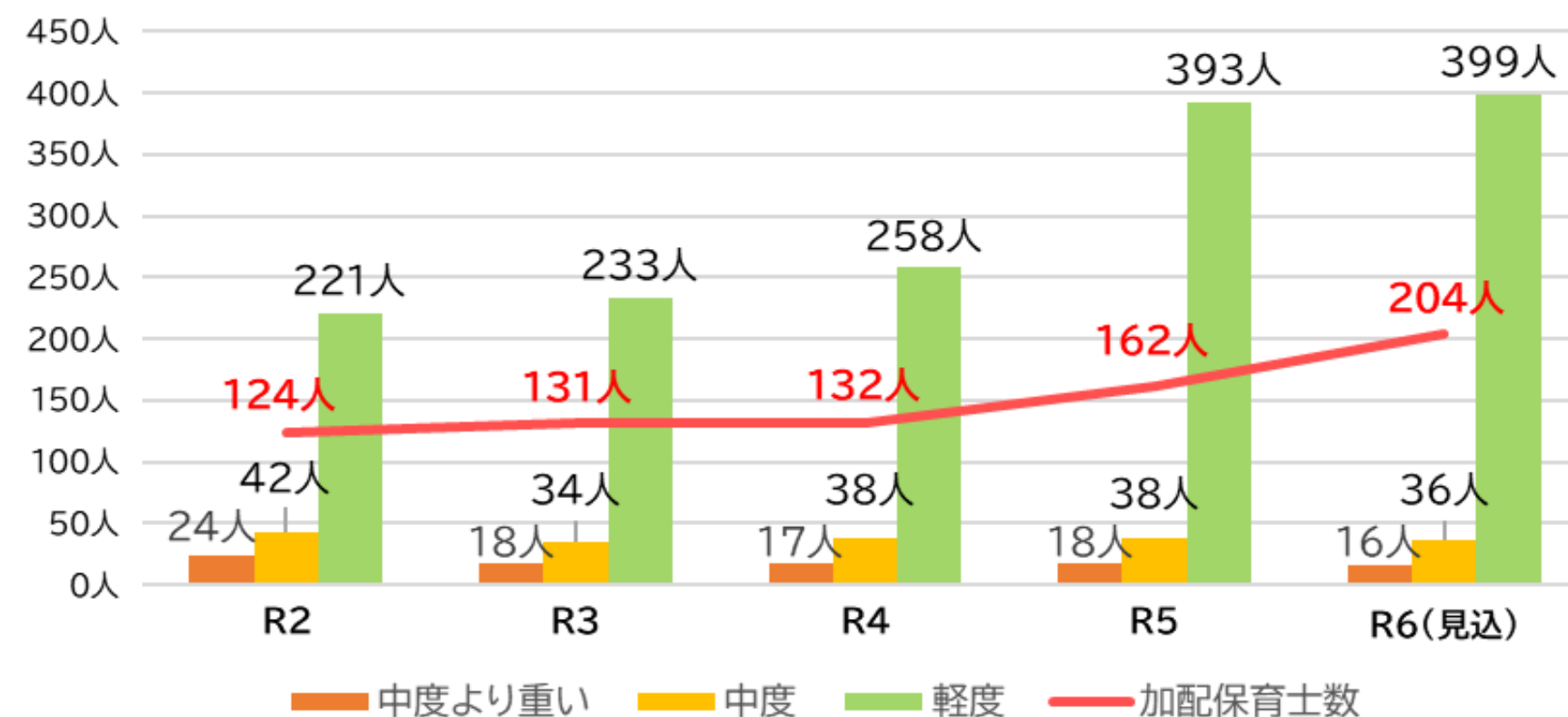
令和7年度予算額
4.0 億円

様々な特性により支援を必要とするこどもは、年々増加しています。私立保育所や認定こども園に対して、障がい児保育を行う加配保育士を配置するための雇用経費を助成します。

-Point-

- ・支援の必要なこどもが安心して過ごせるように、加配保育士を配置し、保育所等の受入体制を整備します。

受入児童数と加配保育士数の推移



【安心4】 困難な状況にあるこどもや家庭を支援する取組

拡
充

児童養護施設等の人材確保

令和7年度予算額

5,852 万円

児童指導員、母子支援員、児童自立支援専門員、児童生活支援員、指導員の資格取得を目指す方を児童指導員等の補助者として雇用する場合、必要な費用の一部を補助します。

-Point-

- ・利用者に直接かかわる職員の業務負担を軽減することで、離職防止及び人材確保を図ります。

雇用者数（延べ）



6名

（R6年度実績）

活用施設数（延べ）



5施設

（R6年度実績）



拡
充

里親養育推進に向けた支援

令和7年度予算額

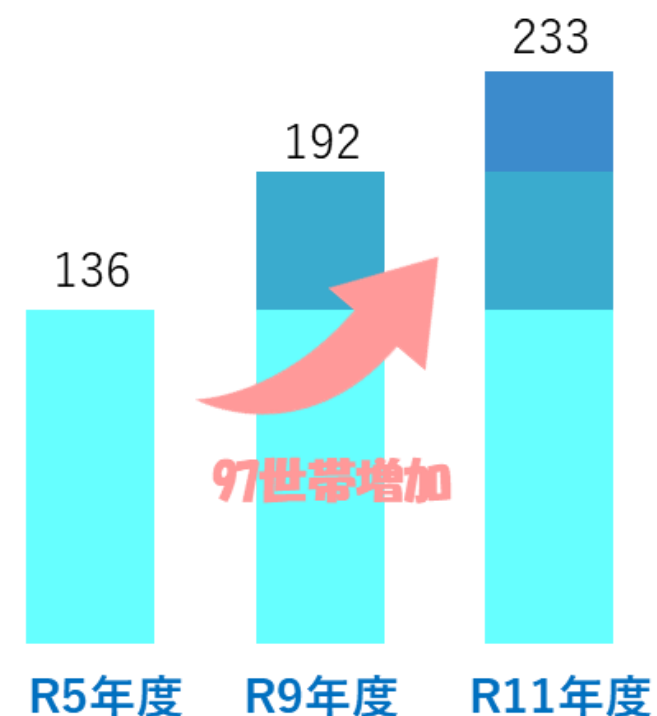
398 万円

里親を対象として、こどもとのマッチングに必要な生活費や交通費を補助します。また、里親及びその希望者を対象として、養育里親研修等に参加する際の交通費等を補助します。

-Point-

- ・県外で行われる場合の研修交通費やテキスト代等の経費を新たに補助対象として拡充します。

登録里親数（単位：世帯）



97世帯増加

R5年度 R9年度 R11年度

※R9、R11年度は目標値



出典：「里親制度リーフレット」
（<https://www.cfa.go.jp/policies/shakaiteki-yougo/satooya-gekkkan/>）を加工して作成



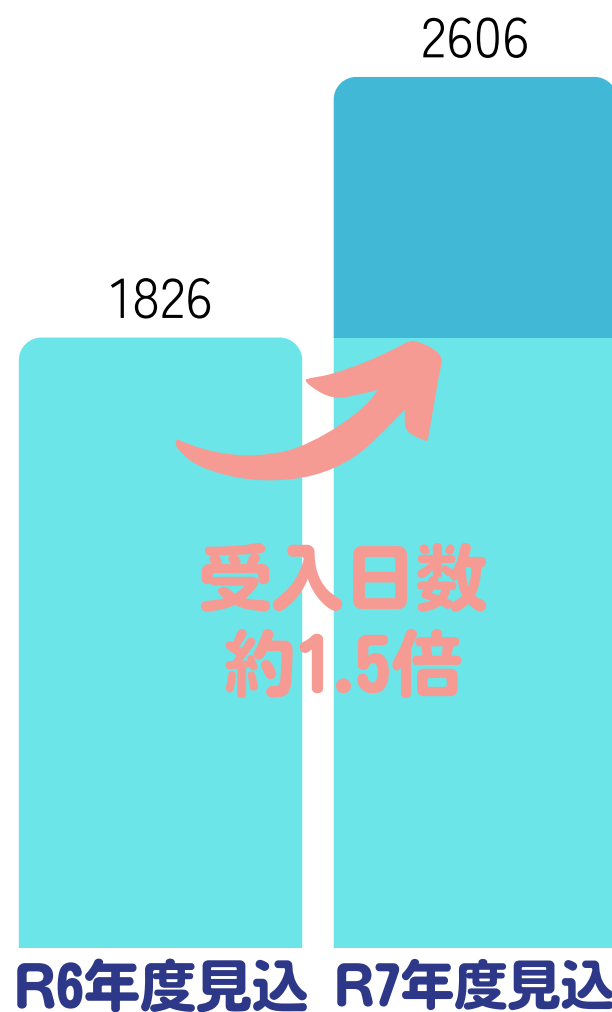
【安心4】 困難な状況にあるこどもや家庭を支援する取組

拡
充

令和7年度予算額
一時的なこどもの養育支援の充実 **3,440** 万円

仕事や病気などの理由でこどものお世話が難しい場合に児童養護施設等でこどもを預かります。（ショートステイ・トワイライトステイ）

利用見込（単位：日）



-Point-

- ・ こどもを預かる専用室を3室新設し、
受入体制を拡充。安定した環境を整備



令和7年度予算額
若者・ヤングケアラー支援センター **2,450** 万円

若者・ヤングケアラー支援センターでは、若者とヤングケアラー等からの様々な相談（ニート、ひきこもり、就労、疾病・障がい、人間関係等）をワンストップで受け付け、情報の提供、助言等を行い、適切な支援機関を紹介しています。

-Point-

- ・ 専門資格やスキルを持つ相談支援員による訪問相談等の
アウトリーチ型支援
- ・ 若者やヤングケアラーが気軽に立ち寄れ、安心して自由に自分の
時間が過ごせる居場所を提供



【安心5】若者等の希望の実現と活躍の場を提供する取組

結婚を希望する方への支援

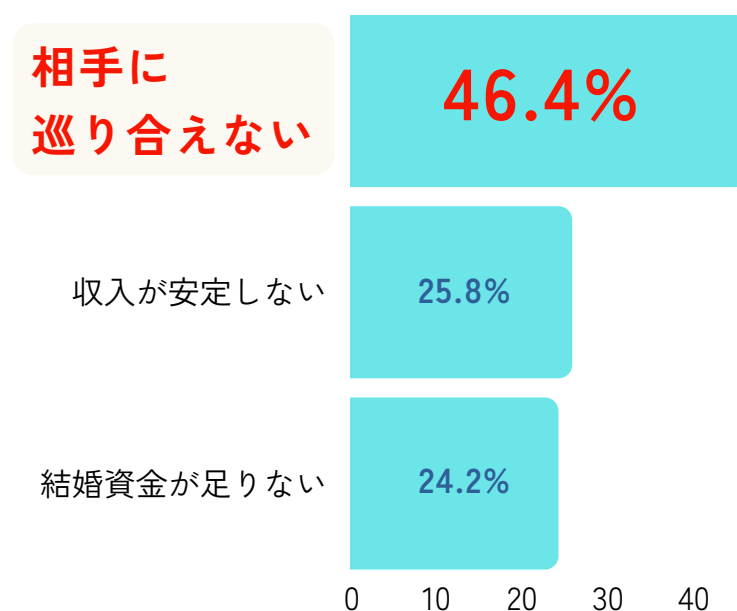
令和7年度予算額
3,300 万円

くまもと出会いサポートセンター「Kumarry」を通して、結婚を希望する方に様々な出会いの機会を提供します。
また、出会いの場を提供する民間イベントに助成することで社会全体で結婚を応援する機運醸成を図ります。

-Point-

- ・AIマッチングシステムを活用した理想のお相手探し
- ・厳格な本人確認による安全性の高いサービス
- ・センタースタッフボランティア等による伴走型サポート

結婚の障壁（単位：％）



令和7年1月OPEN



拡
充

保育人材確保の取組

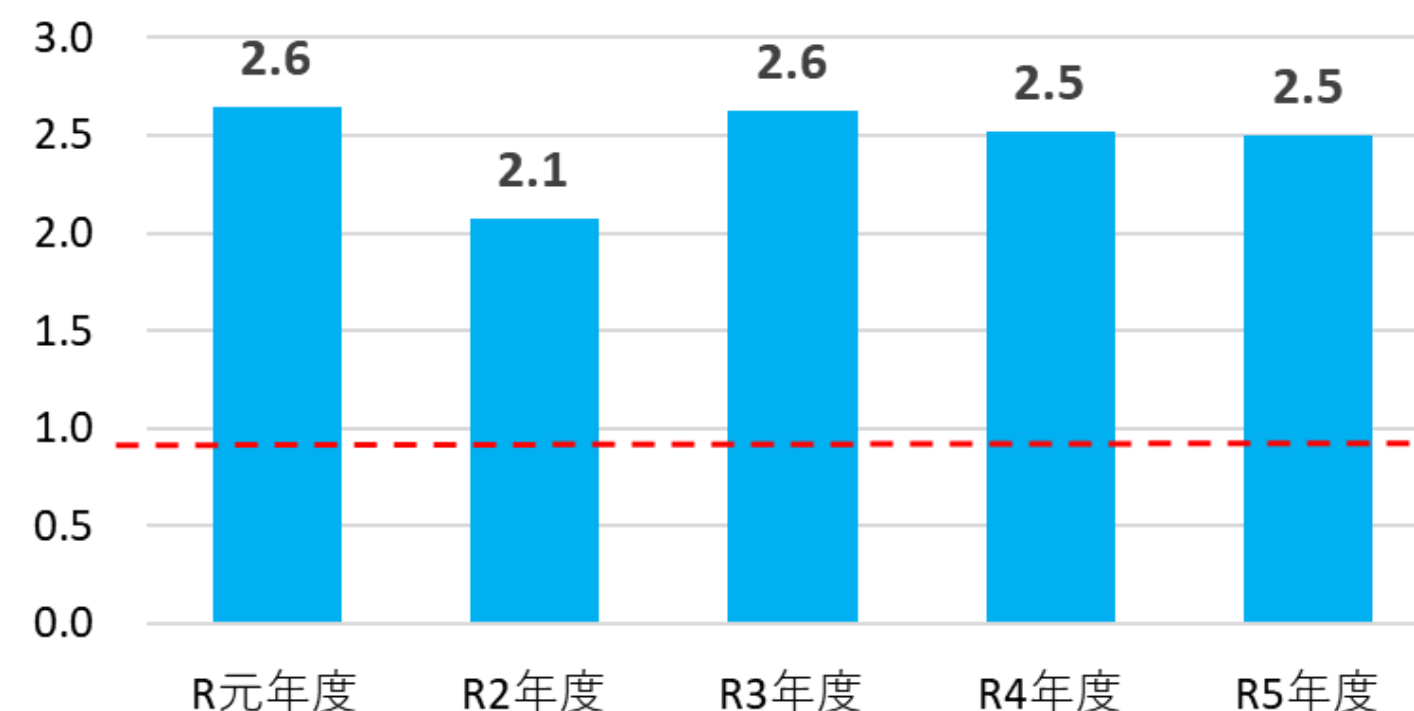
令和7年度予算額
532 万円

保育士再就職支援コーディネーターを配置し、潜在保育士等の就職を支援します。また、中高校生の保育体験講座などに要する一部費用を補助します。

-Point-

- ・中高校生段階から就職時期まで、継続した取組を実施
- ・保育士資格取得支援
- ・保育士養成施設に対するキャリア教育等のための費用助成

保育士の有効求人倍率



【安心5】若者等の希望の実現と活躍の場を提供する取組

大学生学校教育活動アシスタント

令和7年度予算額

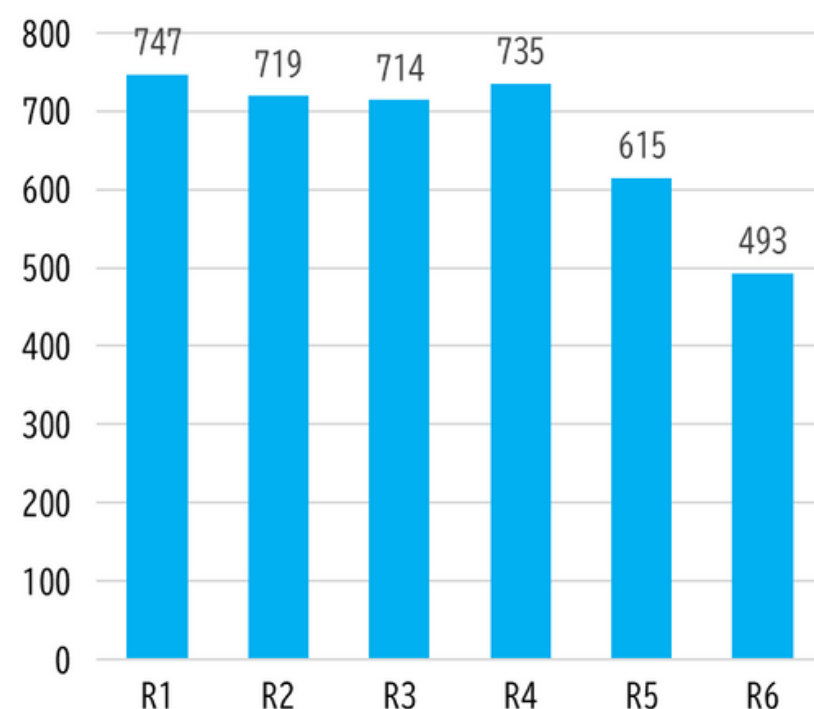
800 万円

大学生等に熊本市の学校で学習指導の補助等を経験してもらうことで、教員としての資質能力や教員となる志望動機の向上につなげます。

-Point-

- ・大学生等が有償ボランティアとして実際の学校現場で授業支援
- ・大学で学んだ理論と教育現場での体験の往還を通じた資質の向上及び教員志望動機の強化

志願者数の推移



大学生学校教育活動アシスタント



新規

農業をはじめめる方への支援

令和7年度予算額

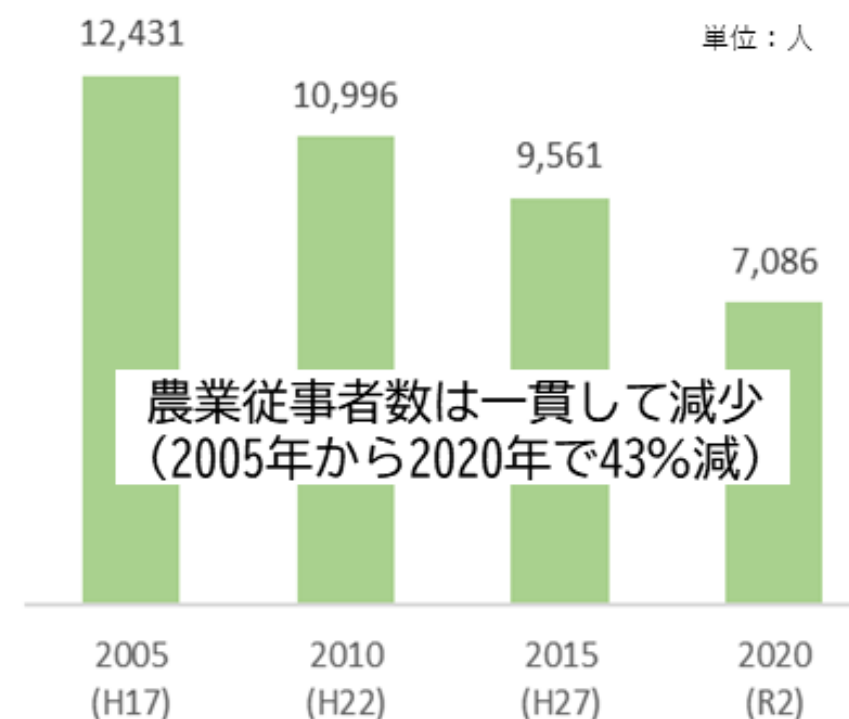
2,400 万円

本市農業の持続的な発展につなげるため、次世代の地域農業の担い手となる就農希望者の受入と、就農して間もない農業者の初期投資等を支援します。

-Point-

- ・市内外で広く就農・営農に関する相談会等を実施
- ・就農を希望する方へ産地での実践型就農体験を提供
- ・就農にあたり必要な農業用機械・施設等の導入を支援

基幹的農業従事者数（個人経営体）の推移



相談支援体制の整備

こどもや若者、そして子育てをしている方がいつでも安心して相談できる体制を整えることで、こどもたちが健やかに成長し、若者が夢を追いかけるための適切なサポートを行うとともに、子育てをしている方が抱える悩みや不安に寄り添い、共に解決策を見つけるための支援を行います。

安心	主な相談支援機関	妊 出 産	育 児	こども	若 者	困 難 な状況
1	こどもの権利サポートセンター			○		
	妊娠内密相談センター	○				
2	こども家庭センター	○	○			○
	ようこそ赤ちゃんプロジェクト	○				
	子育て支援センター		○			
	児童家庭支援センター		○	○		○

安心	主な相談支援機関	妊 出 産	育 児	こども	若 者	困 難 な状況
4	里親支援センター					○
	児童相談所			○		○
	こども発達支援センター					○
	母子家庭等就業・自立支援センター					○
5	若者・ヤングケアラー支援センター				○	○
	くまもと出会いサポートセンター				○	